

Program Notes

11月「トロイカ」

トロイカは、3頭立ての橇、冬のロシアの風物詩の一つです。この曲は、とても描写的に書かれていて、鈴の音、蹄の音など、まるで絵を見ているかのように伝わってきます。しかも、見事なまでの芸術性をもつて。

12月「クリスマス」

さあ、初めの、あの暖炉で火が明々と燃えていた家に戻ってきました(これは、もちろん私の想像です)。おばあさんおじいさんに加えて、子供たち、孫たち、仲良く、この一年の幸せを噛み締めながらワルツを踊ります。舞踏会ではなく、居心地がよい温かい家庭での、しみじみとしたワルツ。

チャイコフスキー: ドゥムカ ハ短調 ~ ロシアの農村風景

Op.59

ドゥムカは哀歌とも訳され、19世紀にポーランドからひろがり、スラブ系諸国で流行した民族色の濃い音楽で、チャイコフスキーのこの作品ではゆっくりした秋冬の静かな景色とロシアの素朴な歌と踊りの生き生きとした旋律が交互に表現されています。

リスト: 愛の夢 第3番 S.541-3

もともと歌曲として作曲した3つの曲で、1850年に作曲者自身がピアノ独奏版に編曲したものです。第3番は、ドイツロマン派の詩人フライリヒラートの「おお、愛しうる限り愛せ」という詩に作曲された、リストの作品のなかでもっとも知られている小品です。題名からすると、夢見る恋愛のようなイメージがありますが、人類の理想の愛ともいべきスケールの大きな世界を謳いあげている、優美さと情熱をあわせもつ作品です。

リスト: メフィスト・ワルツ 第1番 「村の居酒屋での踊り」

S.514

16世紀ドイツのファウスト伝説に強く惹かれていたリストが、同郷の詩人レーナウによる叙事詩「ファウスト」から靈感を得て作曲したピアノ曲で、初版の楽譜には、その引用が表題として印刷されています。その大意を示します。「メフィストフェレスに連れられて、ファウストは陽気に騒いでいる村の居酒屋に来る。そして彼は、肉感的なひとりの女をみそめる。メフィストフェレスはヴァイオリンを弾き始めるが、その演奏は、官能的で甘く、時に恐ろしげで、時に暴力的でさえある。その魔法の音に導かれて、ファウストは女を誘惑して、森へと消えていく。」

参考文献: チャイコフスキーの「四季」と「ドゥムカ」は、上原彩子執筆。他は「作曲家・人と作品(音楽乃友社)」と Wikipedia を参照した。

Profile

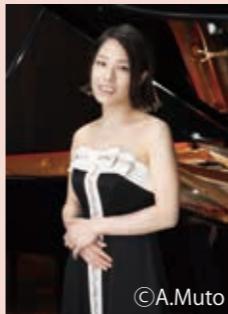
上原 彩子(ピアノ) UEHARA Ayako

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、江口文子、浦壁信二の各氏に師事。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2000年3月、第5回浜松国際ピアノアカデミーに参加、ピアノアカデミーコンクールでは、アカデミー史上、初のグランプリを受賞。同年7月、シドニー国際ピアノコンクールにて第2位及びピープルズ・チョイス賞、オーストリア人作品賞、室内楽賞、ショパン賞等各賞を受賞。2002年6月には、第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュユアーティスト賞受賞。これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共に演奏し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDは日本人ピアニストとして初めて、EMIクラシックスと契約し、チャイコフスキーの作品を収めた「グランド・ソナタ」、フリューベック・デ・ブルゴス指揮のロンドン交響楽団との共演によるチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番及びプロコフィエフのソナタ7番等を収めた「プロコフィエフ作品集」がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ13の前奏曲」「上原彩子のモーツアルト&チャイコフスキー」「デビュー20周年記念コンサート・ライヴ盤」がリリースされている。

2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と、2007年1月にはベルリン・フィル八重奏団と共に演。また、2008年9-10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウーン・キュンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアを行ない、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共に演、高い評価を受けた。2022年にはデビュー20周年を迎えた。2024年からベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏を開始、今年の3月に2回目のリサイタルを行う。

東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。オフィシャル・ホームページ: <https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>



©A.Muto

上原 彩子 ピアノ・リサイタル

2025年1月19日(日)

開演: 14:00

小田原三の丸ホール大ホール

ごあいさつ

上原彩子さんのピアノ・リサイタルにお越しいただきありがとうございます。本日は上原さんが今、全身全霊で取り組むベートーヴェンに加えて、ふるさとを感じておられるだろうチャイコフスキーと、同じく幼なじみのレパートリーであるリストを演奏していただきます。渾身のプログラムをお楽しみください。

Rzp LLC 代表 磯部

Rzp LLC主催 次回演奏会

2025.6. 15 (日)

石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル
小田原三の丸ホール大ホール(1階席のみ)